

八日市地区コミュニティだより

八日市振興センター内
花巻市石鳥谷町大興寺8-157-4
電話/FAX 45-4840

令和2年度八日市地区文化祭が開催されました

11月14日(土)～15日(日)に八日市地区文化祭が開催され、およそ120名の参加者で賑わいました。

館内には石鳥谷保育園園児・石鳥谷小学校児童の作品や、手芸作品、地域講座作品、個人出展された作品が展示されました。各区の展示コーナーでは、地域の隠れた芸術家たちの作品の他、地域の歴史や文化に接する貴重な場となりました。



今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小しての開催となりましたが、地域の皆さまのご協力により無事に開催することが出来ました。来年もたくさんの出展をお待ちしております。



第2回配食サービスを実施しました

11月13日(金)に第2回ふれあい昼食会の代替事業として、民生児童委員さんにご協力をいただき、地区内の対象者の方にお弁当をお届けしました。今年度は昼食会を開催せず、残り2回もお菓子やお弁当を配布する予定です。

行事中止のお知らせ

花巻市内で新型コロナウイルス感染者が確認されたため、下記の予定されていた行事を中止します。

- 11/26 男の料理教室
- 12/11 男のサロン(そばうち体験)
- 12/12 女性の料理教室
- 1/9 ミズキ団子作り会

振興センターと改善センターの暖房料が変わります

市の料金見直しにより、当施設の暖房料が12月1日使用分より下記のとおり変更になります。※1時間/1台

施設名等	部屋名等	変更前	変更後
いきいき交流館	活動室	260円	220円
	研修室	260円	220円
	調理室	60円	60円
	ロビー	60円	60円
改善センター	会議室	70円	60円
移動式暖房器	ブルーヒーター	110円	90円

[1月 各種行事予定]

21(木) 午後6時 市政懇談会
場所：八日市いきいき交流館

◆施設の利用制限のお知らせ◆

花巻市内でコロナウイルス感染者が確認され、市内公共施設が利用ガイドラインのレベル3に引き上げられたことにより、当施設の利用も下記のとおり制限します。

※制限は12月末までとなっておりますが、感染拡大の状況により期間や制限レベルが変更になる場合があります。花巻市のHPや市の広報もご覧ください。

○八日市いきいき交流館○

開館時間 午前9時から午後5時まで
休館日 土日祝日、毎月第2月曜及び第4月曜
利用時間 2時間以内
その他 飲食・調理不可

○八日市構造改善センター○

使用時間 午前9時から午後9時まで
休館日 毎週月曜
利用時間 制限なし
その他 飲食一部可・調理不可

※敷地内の施設は全て12月29日から翌年1月3日まで休館となります。また、運動公園にある屋外トイレは、冬期間使用出来なくなります(再開は来年4月中旬予定)。



●ホームページ掲載版について●

- ・慶弔欄は掲載しません
- ・個人名が入った記事は、掲載を見合わせる場合がありますのでご了承ください
- ・人物が写っている画像は加工処理をして掲載しております

八日市地区コミュニティ会議よりお知らせ

今回のコミュニティだよりは11月13日発行予定です。行事予定は今後のウイルス感染拡大状況によって変更になる場合があります。

コロナウイルス感染症にはうがい、手洗いが効果的です。インフルエンザの予防にもなりますので、これからの時期、徹底して行いましょう。

八日市の歴史探訪 遺跡・文化財の紹介《第5回》

八日市地区の石碑

寺院や神社の境内、道路沿いなどに様々な石碑が建立されています。八日市地区には300基近くの石碑があります。石碑は先祖の風俗習慣や信仰、思想などを今に伝えるものとして貴重なものと思われます。地区内にある主な石碑を数回に分けて紹介します

《南無阿弥陀仏》

阿弥陀仏の信仰は、中国の曇鸞（どんらん）や善導などによって古くから唱えられてきました。日本では平安時代中期に空也や源信によってその信仰が力説され、鎌倉時代に入って法然の浄土宗や親鸞の浄土真宗、一遍による時宗が確立され盛んに布教されました。

南無阿弥陀仏は六字の名号で、阿弥陀仏に帰命するという意味です。また、先亡精霊を拜む時に唱える六字の名号でもあります。

石碑は死者への供養、あるいは飢饉や疫病、水害などで亡くなった数多くの死者の霊を慰めるために建

立されました。このほか、無縁仏の供養の印として建立されたものも多くみられます。

八日市地区で最も古い碑は、鎌田嘉道さん宅の南側（道路脇）にある寛政7（1795）年7月16日に建立されたものです。



《念仏供養塔》



阿弥陀仏を信仰する人たちが講をつくり、講員の家を回って念仏を唱えるものに念仏講があります。念仏供養塔はこれを記念する印として、また死者を弔うものとして建立

されました。

念仏講は多くの人が集まり、念仏を融通し多くを唱えることによって極楽往生がかなえられるとする

考えによって行われたといわれています。その起源は平安時代末期にさかのぼり、鎌倉時代になり浄土系宗教が布教されるにつれて民間に浸透しました。

念仏講の種類は多くありますが、共通しているのは無常講とも称される葬式時の念仏と、月並みと称される月1回の念仏講があります。

八日市地区で最も古い碑は、鎌田嘉道さん宅の南側（道路脇）にある延享2（1745）年7月16日に建立されたものです。これには「南無阿弥陀仏墓念仏供養塔」と刻まれています。

《陸中八十八所観世音》

花巻市、北上市、盛岡市の3市と紫波町、矢巾町の2町に散在する88ヵ所の札所です。四国八十八所霊場を模して作ったものといわれています。

八日市地区では大興寺が1番、松林寺子安地藏尊が5番、大興寺の俵屋堂が33番の札所になってい

ます。

石碑では北寺林の稲荷神社境内に、大正15（1926）年3月21日に建立された碑があります。

